

東京国公だより 77号・関ブロ国公だより 28号

2024年7月30日 発行「共同デスク」

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 国家公務関連労働組合関東ブロック協議会
メール アドレス uematsu@tk-kokko.org 東京国公 HP <http://tk-kokko.org/>

人事院勧告が間近に迫るが・・・

**最賃目安答申は一律時給 50 円(4.98%)
アップ・時給 1054 円に 24 春闘、連合は
5.1%(中小 4.45%)アップ**・・・では人事院勧告は？

中央最低賃金審議会（厚生労働相の諮問機関）は7月25日、2024年度の最低賃金（最賃）を**全国加重平均で時給1054円に引き上げる**答申（目安）を出しました。

現在の平均額（加重平均）1004円から50円（4.98%）の引き上げで、現行方式となって最大の上げ幅だった昨年2023年の43円を上回る過去最大の引き上げ額です。

7月3日は、連合が春闘期の最終回答集計を発表しました。平均賃上げ率は**5.10%**、毎月の基本給を引き上げるベースアップ（ベア）は**3.56%**となりました。組合員300人未満の**中小組合の賃上げ率は4.45%**、ベアは**3.16%**でした。

物価高騰で26ヵ月連続しての対前年同月比マイナス

平均賃上げ率は1991年（5.66%）以来の高い伸びです。2023年の3.58%を大幅に上回りました。

しかし激しい物価高騰で実質賃金では、厚労省の「毎月勤労統計」によると、5月時点で26ヵ月連続しての対前年同月比でマイナスです。

さて人勧はどうなる？ しっかり注視を！

春闘5.66%の1991年時の人事院勧告は3.71%のアップでした。引き上げ額は11,244円です。900万労働者の賃金に影響を持つ人事院勧告です。しっかり注視しましょう！

どうにも止まらない！物価高騰 物価高騰抑制はまさに賃金闘争！

2024年5月時点で、26カ月も連続して実質賃金が低下しているのは、激しい物価高騰によるものです。6月の消費者物価から見て、6月の実質賃金下落は間違いなさそうです。生活を守るという点では、物価を抑制させる課題と賃金引上げの課題はまさに一体ではないでしょうか？！

①消費者物価 6月は2.6%上昇—総務省統計局 7月19日発表—

6月の消費者物価は対前年同月比では、2.6%上昇（生鮮食料品を除く総合＝一般的にはこの数値をもって示される）です。これで対前年同月比上昇は34カ月連続です。また2%以上の上昇は27カ月連続です。日銀の物価安定目標は2%以上を強調してきましたが、総合では2.8%、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数でも2.2%の上昇です。食料全体では対前年同月比3.6%の上昇で、依然高い水準で推移しています。なお光熱費は政府補助が半減となり7.5%（5月利用分は半減）の上昇でした。

*2023年1月から、電気代とガス代に政府による補助金が出ていました。政府は、電気・ガス価格激変緩和と呼ばれるこの事業を、2024年5月利用分までで終了することを決定しました。5月利用分の補助金額は、前月に比べて半減されることになり、6月利用分以降は完全に撤廃されることとなります。

*2023年の対前年比の物価

・総合3.2%上昇・生鮮食料品を除く総合3.1%上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合4.0%上昇

*2022年の対前年比の物価

・総合2.5%上昇・生鮮食料品を除く総合2.3%上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合1.1%上昇

*2021年の対前年比の物価

・総合-0.2%・生鮮食料品を除く総合-0.2%・生鮮食料品・エネルギーを除く総合-0.5%

*2020年の対前年比の物価

・総合0.0%・生鮮食料品を除く総合-0.2%・生鮮食料品・エネルギーを除く総合0.2%上昇

*2019年の対前年比の物価

・総合0.5%上昇・生鮮食料品を除く総合0.6%上昇・生鮮食料品・エネルギーを除く総合0.6%上昇

②対前年同月比の物価上昇、この一年の推移

2023/2	2023/3	2023/4	2023/5	2023/6	2023/7	2023/8
3.3% 3.1%	3.2% 3.1%	3.5% 3.4%	3.2% 3.2%	3.3% 3.3%	3.3% 3.1%	3.2% 3.1%
2023/9	2023/10	2023/11	2023/12	2024/1	2024/2	2024/3
3.0% 2.8%	3.3% 2.9%	2.8% 2.5%	2.6% 2.3%	2.2% 2.0%	2.8% 2.8%	2.7% 2.6%
2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10
2.5% 2.2%	2.8% 2.5%	2.8% 2.6%	(公表予定8月 23日)			

上段%は総合消費者物価指数の対前年同月比、下段は生鮮食料品を除く総合物価指数の対前年同月比

2020年平均の消費者物価指数を100とした場合、2024年6月の消費者物価指数は107.8という数値です。*調査品目は571品目です。